

平成26年大磯町議会

3月定例会一般質問（2月27日・28日）

質問議員	質問事項（1日目）	答弁者
<p>1</p> <p>15番 清水 弘子議員 (60分) 9:05～10:05</p>	<p>1. 中学校柔道必修化のその後の経過について (1) 平成24年4月より中学校武道必修化で柔道の授業が始まった。また、スポーツによる脳損傷を予防するための提言が平成25年12月16日に日本脳神経外科学会から出され、12月20日付で文科省スポーツ青少年局から通知が出された。その後の経過について問う。 (2) スポーツ振興センターに届けている学校事故の顕著なものは。その要因はどのようなことであるか。</p> <p>2. 安全のために葬儀場建設の中止を (株)サン・ライフによる嶋立庵西側の葬儀場の建設が始まった。理論上、計算上は計画書を進めることは可能である。 しかし、工事において隣接宅地へ重機が侵入し、安心して安らかな生活ができる状況と言えない。大きな事故が起きる前に中止を望む。 町長のその後の交渉経過について問う。</p> <p>3. 超高齢社会へ突入、安心して最後まで暮らすために 大磯町では認知症の方が800人程度。要支援1・2は1,500人～1,600人と聞いている。 2月4日の毎日新聞で、早期認知症で行方不明が約2割にのぼったと報告が記されていた。発症早期段階は活動も活発、迷い道など思いがけない行動がある。 超高齢社会の大磯町では、安心して暮らすための具体的な在宅介護・医療対策として、どのような政策をしていくか。</p>	<p>町長 教育長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>
<p>2</p> <p>5番 坂田よう子議員 (60分) 10:25～11:25</p>	<p>1. 「子ども・子育て支援事業計画」に対する本町の取組みを問う 「子ども・子育て支援法」において、市町村は、国が示す基本指針に即し、5年を一期とする「子ども・子育て支援事業計画」を平成27年度までに策定するとされている。 その計画では、教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の量の見込みを把握し、提供体制の確保の内容及び実施時期を定める。また、その前提として、地域の人口構造や産業構造等の地域特性、子育て支援事業に関する要望等を踏まえた利用希望把握調査等の重要性が求められている。 昨年8月には「子ども・子育て支援法に基づく基本指針の概ねの案」が国から示され、先般1月には「作業の手引き」が提出された。「子ども・子育て支援事業計画」は、具体的な策定段階に入ってきたと考えられる。 同時に、本町における子育て支援事業に関する様々な課題をこの計画</p>	<p>町長 教育長</p>

質問議員	質問事項(2日目)	答弁者
<p>6</p> <p>12番 関 威國議員 (60分) 9:00~10:00</p>	<p>1. 存続が危ぶまれる「大磯の左義長」町の取組みは 国の重要無形民俗文化財に指定されている「大磯の左義長」の存続がピンチと、新聞記事に取り上げられた。祭の準備や運営を地元の約400世帯で担ってきたが、少子高齢化や毎年の運営費が負担になっているためである。 新たな観光の核づくりとして、神奈川県認定を受けてスタートした観光事業、歴史的にも文化的にも伝統ある「大磯の左義長」の繁栄なくして、新たな観光事業の成功はなしと思う。町民はこの記事をみて心配しているが、町の取組みを問う。 (1) 観光資源としての位置づけは。 (2) 卓話集会で出された要望への対応は。 (3) 今年取組みと今後の施策は。 (4) 町からの人、物、金の支援と協力は。</p> <p>2. 「大磯はつらつサポーター事業」は町民の意見を踏まえて導入準備をしたか 介護支援ボランティア制度は、平成17年に稲城市が国へ制度創設を提案し、その後の特区提案を経て、平成19年に国は地域でボランティア活動に取り組む高齢者の活動実績をポイントとして評価し、このポイントの用途について介護保険料や介護サービス料に充てる制度として実施を認めた。 本町でもこの制度を活用して「大磯はつらつサポーター事業」が4月からスタートする。導入にあたり、次の項目を問う。 (1) 大磯はつらつサポーター事業の概要と目的及び期待効果は。 (2) 町民の意見をどのように収集して事業に反映したか。 (3) 応募事業者数とボランティア登録人数は。 (4) 初年度予算と国・県の補助率及び町の負担率は。</p>	<p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p>
<p>7</p> <p>7番 吉川 重雄議員 (90分) 10:20~11:50</p>	<p>1. 少子高齢化社会へのさらなる取組みを問う 現在、日本の人口はおよそ1億2,800万人であり、50年後には8,200万人、100年後には4,200万人にまで減少するという。 かつて、国民年金は1人の高齢者を10人近くの現役世代が支えていたが、現在は3人で、2,050年には1人で1人の高齢者を支える時代となり、年金や医療保険、介護の問題など、支える現役世代の負担が重くなってくと予測されている。 家族や地域のあり方が変化し、地域に溶け込めないで暮らす老人が増え、出生率の低下、労働人口の減少による産業の衰退も懸念されている。 今後、少子高齢化の問題は地方自治体においても深刻な問題であり、その対策は公共政策の中心的な課題となってくる。今まで以上に積極的な具体策を実施しなければ、将来、子どもや孫達に大きなツケを回すことになる。 少子高齢化に対する積極的で具体的な取組みについて、町長の見解を問う。</p>	<p>町 長</p>

	<p>2. 町の財産は、町民本位に管理・利活用が図られているか 町所有の行政財産（土地・建物）は、町民本位に管理・利活用されているかを問う。</p> <p>3. 町の教育行政について、新教育長の見解を問う 少子高齢化社会の到来につれ、従来の教育行政のあり方は通用しなくなっていると言われている。新しく教育長に就任されたが、町の教育行政の課題とあり方について見解を問う。 また、子どもには「人生の道を間違えずに進むために『自分で考える力』を身につけさせたい」と語られたというが、具体的にどのように進めていくのか見解を問う。</p>	町長 教育長
8 13番 鈴木 京子議員 (90分) 13:00~14:30	<p>1. 必要に応じた福祉・介護サービス提供について問う 国は介護保険から要支援をはずすとしており、不安の声が広がっている。第6期大磯町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画は必要に応じたサービスが提供される内容になるのかを問う。</p> <p>2. 教育制度改革を問う 国の進める教育制度改革は、権力を持つ首長と一線を画すべき教育委員会が一体となる危険性をはらんでいる。町長と教育長の見解を問う。</p> <p>3. 駅前用地活用の進め方を問う 町は新たな自転車等駐車場の位置等を決定したが、町民参加の形をとりながら、情報提供の方法により導いたものではなかったか。検証を求めると同時に今後の進め方を問う。</p> <p>4. まちづくり条例の運用を問う 町はまちづくり条例や法令に則り運用しているが、環境が変ることへの懸念に対応するため、一層の工夫が必要と考える。葬儀場と現在進行中の3件のマンション計画（(仮)ライフレビュー、(仮)ルネサンス大磯、(仮)グランスイート）について問う。</p>	町長 町長 教育長 町長 町長
9 3番 渡辺 順子議員 (80分) 14:50~16:10	<p>1. 大磯町における下水道等、土木事業の質の確保について このたび、国土交通省は公共工事の入札で頻発している不調・不落について、予定価格と実勢価格が乖離していることが主因であると指摘し、労務単価を2月から7.1%引き上げると発表した。さらに、若年入職者の減少や技能労働者の高齢化など、産業界が抱える課題に中長期の視点での新たな施策を検討するとしている。 公共事業は町民生活と経済活動の基盤となる社会資本を整備するものとして重要な意義があり、その質は現在及び将来のために確保されなければならないと考える。国の発表を受け、大磯町の下水道事業など、土木工事の入札制度の実態と質の確保について問う。 (1) 町の入札不調の実態とその原因は。 (2) 町の入札資格要件は。 (3) 課題は何か。</p>	町長

	<p>2. 駅前駐輪場建設と駅前用地利活用の課題を問う</p> <p>駐輪場建設については実施設計の発注段階に入り、用地利活用については6月頃に結論を出すとのことである。非常に重要な議題を三つの会議で検討したため、非常にわかりにくい結果となった。参画と協働のまちづくりの観点から課題を問う。</p> <p>(1) 建築費用について。 (2) 駐輪場の配置について。 (3) 東駐輪場の扱いについて。</p> <p>3. 大磯恒道会の職場環境の悪化について</p> <p>昨年来、大磯町の特別養護老人ホーム・恒道会において、不当な処遇や扱いを受けた職員が、その精神的苦痛によって休職したり離職に追い込まれたりする事態が続いており、このままでは入居者への安定したサービスの供給や安全な医療や介護の確保が難しくなってくると聞いている。</p> <p>町は、状況は把握しており、常に町民に不自由があってはならないので関心をもって経営等も見て行きたいと、議会の一般質問に答弁している。町民の生命と財産を守る行政の長として、この事態をどの程度把握しているか、またどのように受け止めているか伺う。</p> <p>4. 子どもの教育と健康に関して問う</p> <p>(1) 学校給食について</p> <p>① 小学校給食の放射能検査と、平塚市との広域市民測定所について昨年9月議会で改善を求めたが、その後どのような検討をされ、その結果はどうなったか。</p> <p>○検査品目について。 ○事前検査について。 ○後追い調査について。 ○基準値について。</p> <p>② 中学校給食はデリバリー方式を採用する方向が出たが、アンケート結果ではデリバリーの選択が一番低かった。</p> <p>○選んだ理由は。 ○選択肢を広げる考えは。</p> <p>(2) 子宮頸がん予防ワクチンの被害について</p> <p>子宮頸がん予防ワクチンの副作用被害が相次いだため、厚生労働省は2013年6月、積極的な接種の呼びかけを控える勧告を出し、大磯町でもこれに準じた対応をした。</p> <p>大磯町の接種状況と再開の方針、公費負担はどうか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長 教育長</p>
--	---	--

9名 25問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。